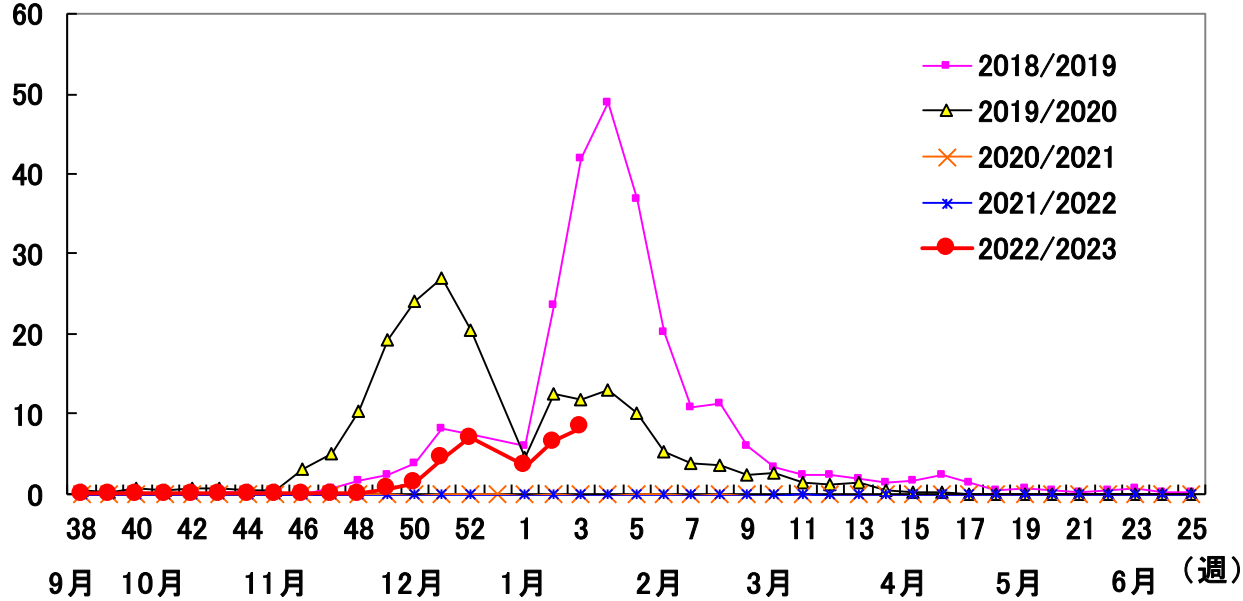


インフルエンザの発生状況(富山県)

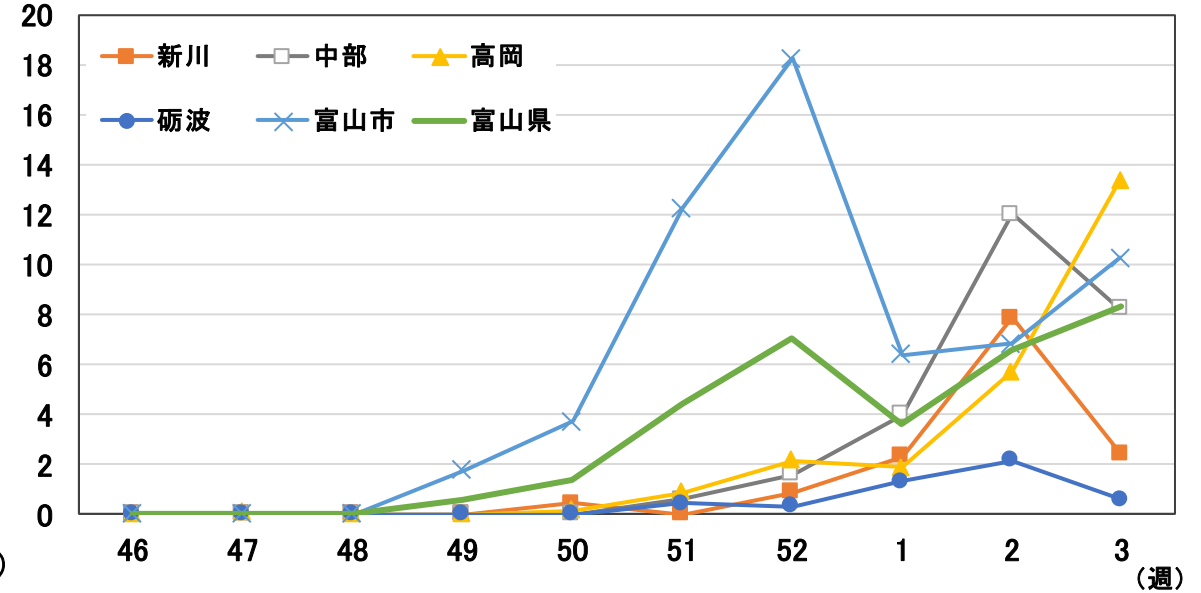
【第3週 (2023/1/16~22) 感染症発生動向調査速報値 (2023/1/25時点)】

(人/定点)

図1. 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2022/2023)



- 2022/2023は、富山県では第50週 (12/12~12/18) に流行シーズン開始の目安である1人/定点を超えている。今週の報告数は**8.33**人/定点となり、先週 (6.52) に比べて増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、新川、中部、砺波管内では減少に転じた一方で、高岡 (黄色) と富山市管内 (水色) では増加が継続した。高岡 (13.38人/定点)、富山市 (10.25人/定点) では、注意報発令の基準である10人/定点を超えた。

図3. 年代別割合(富山県、第3週)

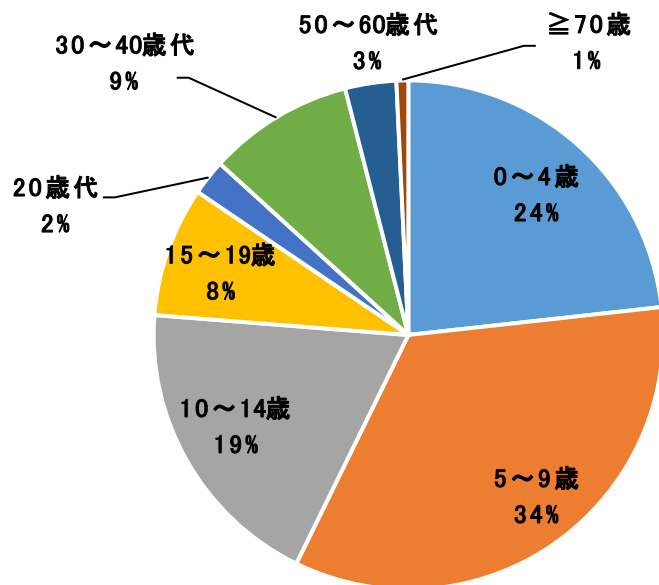
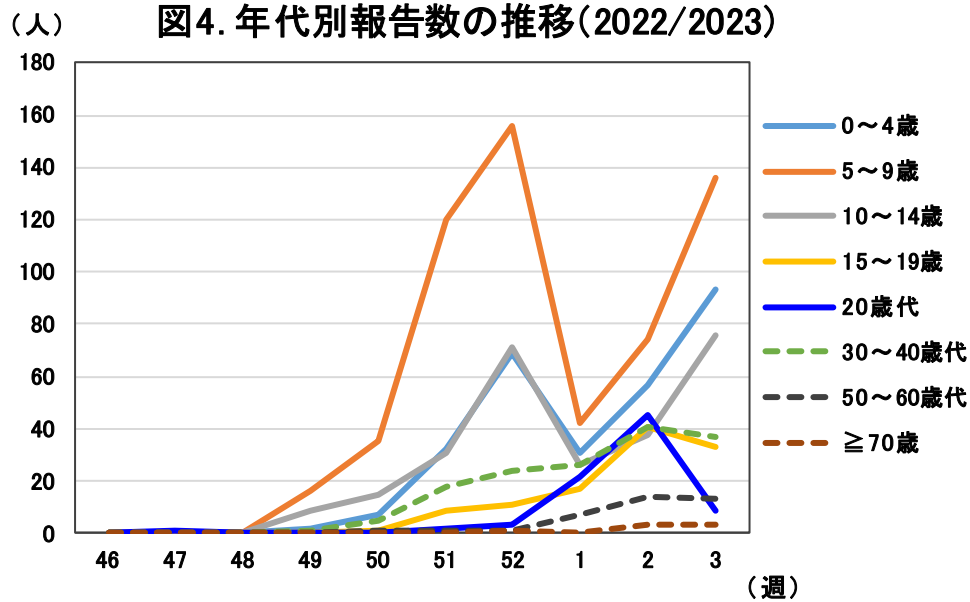


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第3週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が77%を占め、先週（54%）に比べて増加した。20歳代（2%）は先週（14%）から大きく減少した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、0～14歳の増加が継続した。学校等での感染機会の影響が考えられる。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第2週)

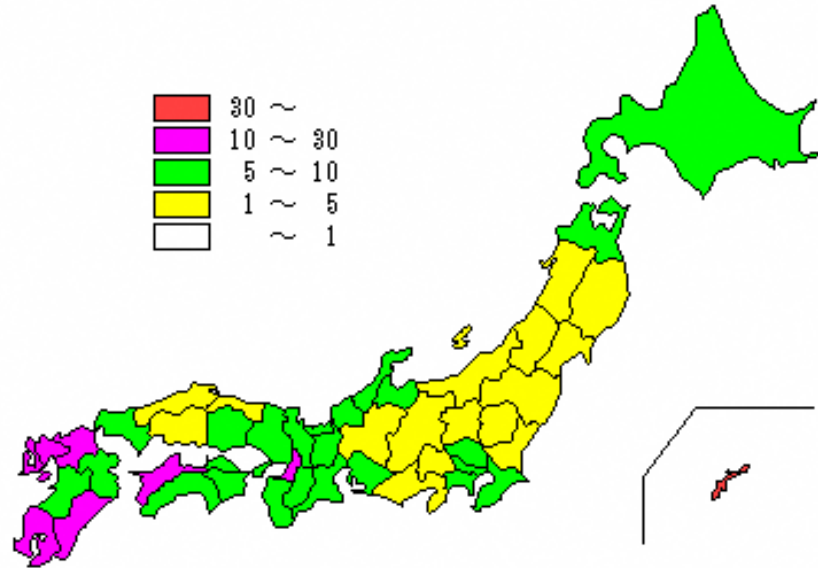
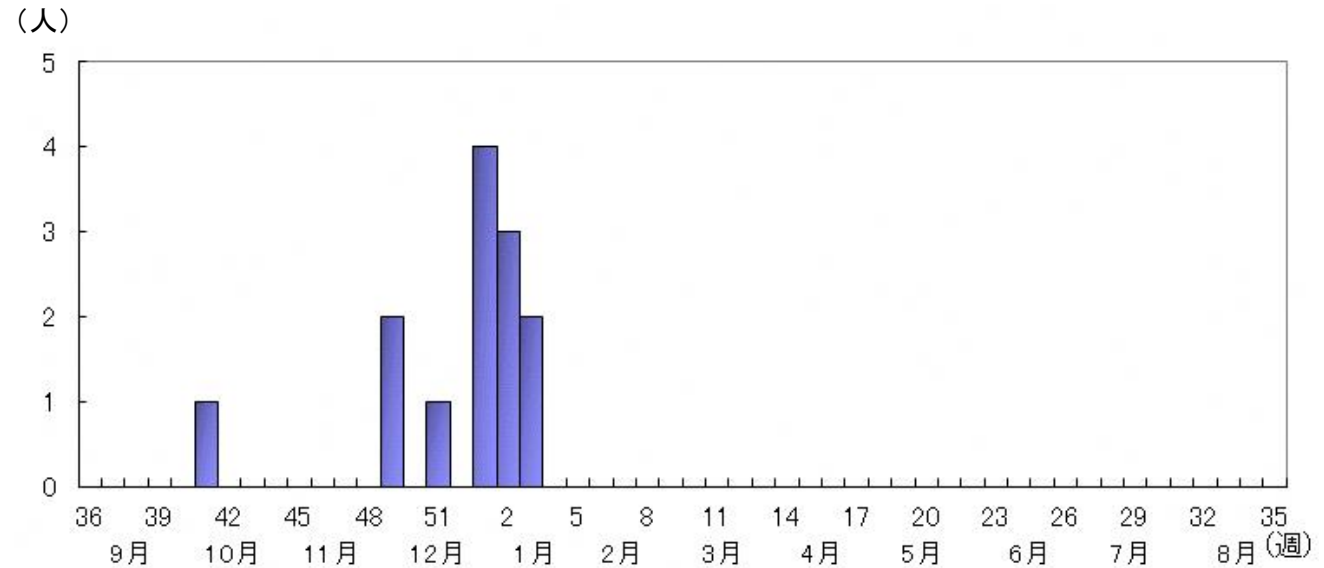


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第3週)



- 全国では第2週に7.37人/定点となり、第1週（4.73）から増加した。なお、都道府県別（図5）ではすべての都道府県で流行シーズン入りの目安である1人/定点を超えた。また、大阪府、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県では、注意報発令の基準である10人/定点を超えた。沖縄県では、警報発令の基準である30人/定点を超えた。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第3週に2例の報告（60歳以上1例、幼児1例）があった。